平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	28		
会計	一般会計				
事務事業名	企画調整事務	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	飯田市庁議規程	

事業目的		
	対象	市政の課題
	意図	適正に調整する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・社会経済情勢の変化や国の取組に呼応するための対応など、幅広い市政の課題を調整するために、専門的な知見や分野横断的な連携体制が求められます。 ・情報収集や人的ネットワーク構築の取組を広げ、関係する団体との連携・交流を通じて、市政に有用な情報や効力を見定め活用することが重要です。

29年度取組

取組内容

市政経営に係る高度で専門的な情報を収集するとともに、関係する機関や幅広い人的なネットワークを構築することにより、変化の激しい時代における市政の課題を調整します。

飯田市制施行80周年にあたり、記念事業及び記念式典を実施するとともに、改めて「ムトス」を推進する契機としていきます。また、式典にあわせて市制50周年時に埋めたタイムカプセルの掘り起しを行います。

経費の内容	事業費(千円)
国、県等会議参加旅費	508
全国過疎地域自立促進連盟負担金	50
スローライフサミット負担金	30
南信州アルプスフォーラム補助金	270
市制80周年記念式典関連費用	3,750
その他の経費	433

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
政策会議開催	回	24			
政策協議開催	回	24			
部長会議開催	回	15			
主管課長会議開催	回	12			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費 計	5,041	(そ)諸収入
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	20	
一般財源	5,021	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	10	1	4,691 / 0	企画調整費
2	1	2	1	9	10	2	350 / 0	各種負担金
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 28　事業名 企画調整事務　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	29		
会計	一般会計				
事務事業名	大学とのネットワーク構築事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画		飯田市版総合戦略	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	飯田市が情報や知見などを得るために必要とする大学、大学の知見等を必要としている地域
	意図	様々な大学・研究者とネットワークを構築し、地域と大学との連携事業を通じて、地域振興や人材育成を図ります

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	地域の課題等に対応することができる幅広い分野の専門性の確保や、人的ネットワークの形成が求められます。 大学・研究者の知見等を、地域振興や地域課題の解決などに更に活かしていく取組が必要です。 事業のコアとなる学輪IIDAの求心力、更なる充実に向けた取組が必要です。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	南信州・飯田フィールドスタディなど学習機会の創出、様々な大学との連携による教育・研究活動の展開及び学輪IIDAの取組などを通じて、大学・研究者との更なるネットワークの構築を図ります。 また、大学・研究者の人的ネットワークを活かし、地域課題の解決や人材育成に通ずる事業を、地域との連携のもと推進します。 ○南信州・飯田フィールドスタディの実施 ○域学連携事業の推進 ○高大連携事業の推進 ○学輪IIDA全体会の開催、プロジェクト会議の展開	南信州・飯田フィールドスタディ事業費	239
		学輪IIDA事業費　(全体会・プロジェクト会議など)	2,182
		域学連携事業費	803
		高大連携事業費	137
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	学輪IIDAに参加している大学研究者数	人	95			
	大学との連携事業、プロジェクト数	件	11			
	飯田で学習・調査研究をした学生等の数	人	800			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	3,361	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,361	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	5	3,361 / 0	大学とのネットワーク構築事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 29　事業名 大学とのネットワーク構築事業　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			ー	×	×	ー	×	ー					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	30		
会計	一般会計				
事務事業名	三遠南信地域交流事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		三遠南信地域連携ビジョン
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民
	意図	三遠南信との交流・連携を深めます

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	○現在の三遠南信連携ビジョンが改定時期を迎えています。 ○三遠南信地域の交流の必要性を感じている市民の割合は高いですが、実際に交流事業に参加している市民の割合が低いため、更なる連携・交流に通ずる事業を展開していく必要があります。 ○中京圏との更なる交流、連携を進める必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	三遠南信地域の交流機会の創出につながるよう、三遠南信地域連携ビジョンの推進や、新ビジョンの策定支援及び広域連携強化のあり方に関する検討を進めます。 また、中京圏も含めた交流意識の向上や交流機会の創出に向け、市民活動等への支援を進めるとともに、積極的な情報発信を行います。 ○関係機関との連携による現ビジョンの推進と新ビジョン策定に向けた支援 ○「三遠南信住民ネットワーク協議会」や「南信州交流の輪」との連携による、祭り街道弁当などを活用した圏域への積極的な魅力発信や交流人口拡大に向けた事業推進	三遠南信連携ビジョン推進	123
		三遠南信サミット費用	111
		市民活動支援事業費	14
		三遠南信地域連携新ビジョン策定負担金	1,000
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	SENA等会議出席回数	回	20			
	市民交流機会創出	事業	10			
	情報発信	回	12			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,248	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,248	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	6	1,248 / 0	三遠南信地域交流事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 30　事業名 三遠南信地域交流事業　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	31		
会計	一般会計				
事務事業名	総合計画推進事務	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始	H19	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		自治基本条例
				いいだ未来デザイン会議条例（仮称）

事業目的		
	対象	いいだ未来デザイン2028（総合計画）
	意図	取組を評価し、改善や工夫による向上を図り、地域のビジョンを実現する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・多様な主体の市政推進への参画は、推進委員が評価するという形で共に事業を推進するという考え方で進めていますが、この評価という方法だけで成り立つものでなく、ムトス活動や様々な事業と連動した推進が重要です。 ・行政評価システムは、次期総合計画を見据え、当初設定した成果指標を達成した場合の指標の見直し、評価に係る時間、労力の投入などシステム自体の改善が求められています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	多様な主体との協働又は共創により取り組む「いいだ未来デザイン2028戦略計画」を基軸に議論し、実践と経験を繰り返し、それらを評価することによって新たな発想を広げ、効果的、効率的な行政運営を図ります。 　戦略計画、事務事業に係る自己評価と、議会、市民委員会（いいだ未来デザイン会議）による外部評価を行います。 　行政評価のほか、庁内主要マネジメントシステム（予算・決算、組織目標管理、環境ＩＳＯ）の各機能を効果的に発揮するため、統合したマネジメントシステムの運用を確立させます。	いいだ未来デザイン会議運営	778
		いいだ未来デザイン2028推進・啓発・伝播	122
		事務事業進行管理表システム構築	1,256
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	いいだ未来デザイン会議開催	回	3			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,156	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,156	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	20	2,156 / 0	いいだ未来デザイン推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 31　事業名 総合計画推進事務　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	6	事業No.	33		
事務事業名	ふるさと飯田応援隊募集事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	企画課	開始	H20	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	地方税法	
			所得税法	

事業目的		
	対象	全国民、市内の地域産品を取り扱う事業者
	意図	飯田市の魅力の発信、飯田市の取組・事業の応援、飯田市の地域産業の活性化を複合的に行う。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・寄附の募集は、全国的な盛り上がりが影響すると考えられますが、飯田市の魅力を効果的に発信する返礼品となることを重視するとともに、節度ある返礼品の選定を行う必要があります。 ・引き続き魅力発信のための新たな返礼品の選定や、寄附者の満足度を高める対応が必要です。 ・寄附者の志を、各種の取組・事業につなげられる仕組みを検討する必要があります。

29年度取組

取組内容

ふるさと寄附金制度を利用して、当市に寄附をいただけるよう、専用ウェブサイトへの登録、パンフレットの作成・配布により募集を進めます。寄附をいただいた方には、お礼状と広報紙を送付し、飯田市の情報を届けるとともに、地域の特産品を贈呈し、地域産業の活性化を図ります。

また、寄附金で応援する「①リニア飯田駅の応援、②飯田の観光、文化の応援、③人材育成、人材誘導の応援、④人形劇のまちづくりの応援」の４種類の取組・事業を掲げ、寄附者の意向を具体的に反映できる仕組みとします。

経費の内容	事業費(千円)
返礼品調達代金	78,000
代行業務	27,605
PR経費等	1,780
その他の経費	1,808

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
ふるさと納税申込件数	件	12,000			
PRパンフレット作成、配布	部	2,000			
首都圏・中京圏でのPRパンフレット等配備	カ所	2			
イベント、バス停等での周知活動	回	3			
返礼品協力企業数	社	19			
返礼品登録数	個	100			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	109,193	ふるさと寄附受納見込み200,000千円
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	109,193	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	9	11	22	109,193 / 0	ふるさと飯田応援隊募集事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 33　事業名 ふるさと飯田応援隊募集事業　　企画課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況